

# 研修便！



研修部  
平成30年  
6月22日  
vol.4

## 高フ口指導案検討

先日の研修、お疲れ様でした。全校研Ⅱを行う鈴木先生の指導案をもとに、各グループから意見や質問などを出し合いながら検討を行いました。ぜひ話し合われた内容や指導案を参考に、ご自身の指導にも生かしていただければと思います。

**研修個別での程度おさえるかはそろえておく!**

**筆算のとき**

**節と相手のを比較する**

**ADP → じゃあどうして0.3になるの?**

**課題の難易度の正当性**

**→ 明確に**

**授業づくりの視点**

**→ 学習のゴールを明確にする。**

**→ 課題を解決するための手段を確認する。**

**→ 自身の考えや求め方の説明をノートに書かせる。**

**→ 必要感や学習意欲を高める。**

**→ 解決につながる見通しを全員にもたせる。**

**→ 学習内容を生かして問題を解く。**

**→ あまりは除数より小さくなることを理解している。またそれを言葉で説明することができ。**

**【観察・発言・ノート】**

**→ 学習の成果・課題を言葉で表現する。**

**③ たしかめ式だと  $0.5 \times 4 + 0.3 = 2.3$  になるのでBが正しい。**

**④ 筆算で求めると4あまり0.3になる。**

**→  $230 \div 50 = 30 \text{ cm}$  になる。**

**→  $30 \text{ cm} = 0.3 \text{ m}$**

**→ 学習のゴールを明確にする。**

**→ 課題を解決するための手段を確認する。**

**→ 自身の考えや求め方の説明をノートに書かせる。**

**→ 必要感や学習意欲を高める。**

**→ 解決につながる見通しを全員にもたせる。**

**→ 学習内容を生かして問題を解く。**

**→ あまりは除数より小さくなることを理解している。またそれを言葉で説明することができ。**

**【観察・発言・ノート】**

**→ 学習の成果・課題を言葉で表現する。**

**小数でわることの意味。**

**小数を整数  $0.5 \overline{) 2.3}$**

**$2.3 \rightarrow 0.1 \text{ or } 23 \text{ 分}$**

**$4 \overline{) 23}$**

**$2 \overline{) 30}$**

**$0 \overline{) 30}$**

⇒テープ図を活用し、答えの見通しをもたせる。

(3) 本時の展開【鈴木道場】(12時間扱い 9時間目)

学習活動	形態	※留意点 ◇評価規準【評価方法】
つかむ 1. 問題を捉える 2.3mのテープを0.5mずつ切っていきます。0.5mのテープは何本できて、何mあまるでしょうか? ・立式する。→ $2.3 \div 0.5$ ・3の求め方を提示する。 A: $2.3 \div 0.5 = 4$ あまり3 B: $2.3 \div 0.5 = 4$ あまり0.3 C: $2.3 \div 0.5 = 4.6$ ・Cはあまりが出ていないので違う。 ・商は1の位まででよい。	全体 個人 全体	授業づくりの視点① →必要感や学習意欲を高める。 →解決につながる見通しを全員にもたせ
2. 課題を立てる あまりはどのように表せばよいだろう。 ・今日の学習のルーブリックを示す。	全体	授業づくりの視点① →学習のゴールを明確にする。
おさえ 3. 解決の見通しをもつ ・テープ図で考える。 ・たしかめの式で考える。 ・筆算で考える。 4. 個人で考える ・あまりがわられる数より大きくなっているからAは間違っている。 ・0.5mのテープが4本で2mだから、 $2.3 \div 2$ で、あまりは0.3mだ。	全体 個人	授業づくりの視点① →課題を解決するための手段を確認する。 授業づくりの視点② →自分の考えや求め方の説明をノートに書かせる。

違和感ある  
すわわかる → なさる  
まとめ: 筆算のこと  
課と④が合う?  
D.1がいく  
スマートにする

学び合う 5. ペアで自分の考えを相手に伝える ・自分の考えをとなりの人に伝え、再度自分の考えを整理する。 6. 全体で考える ・深くていく順序を意識しながら指名していく。 ・もとの長さを10倍しているの、あまりを $\frac{1}{10}$ することに気付かせる。	個人 全体 ペア 個人	授業づくりの視点③ →考えの確認・考えを広げるための交流 (自信をもつ、他の考えを知る) →考えを広げる・深める交流 (他の考えがわかる、説明できる) 高学年で求められ友だちの意見は
まとめ 7. あまりの出し方をまとめる あまりの小数点は、わられる数のもとの小数点にそろえてうつ。	全体	つながり手立
生かす 8. 練習問題を解き、説明する ・教科書P.66のたしかめ19に取り組む。	個人 ペア	授業づくりの視点④ →学習内容を生かして問題を解く。 ◇あまりは除数より小さくなることを理解している。またそれを言葉で説明することができる。 【観察・発言・ノート】
振り返り 9. 本時の学習を振り返る ・ペアや全体交流で学んだことを記述する。	個人 ペア 全体	授業づくりの視点④ →学習の成果・課題を言葉で表現する。

高学年で求められ友だちの意見は  
難しい  
ペア  
説明のための話!  
つながり手立  
友達とへ!につながる!

3 本時の学習

(1) 本時の目標  
小数の除法のあまりの大きさについて理解する。【知識・理解】

(2) 本時の評価  
◇評価規準の具体 (評価方法～観察・発言・ノート)

【知識・理解】  
十分に満足できる : あまりの出し方を理解し、説明することができる。  
おおむね満足できる : あまりの出し方を理解している。  
努力を要する児童への指導  
→テープ図を活用し、答えの見直しをもたせる。

(3) 本時の展開【鈴木道樹】(12時間扱い 9時間目)

学習活動	形態	※留意点	◇評価規準【評価方法】
1. 問題を捉える 2.3mのテープを0.5mずつ切っていきます。0.5mのテープは何本できて、何mあまるでしょうか？ ・立式する。→ $2.3 \div 0.5$ ・3つの求め方を提示する。 A: $2.3 \div 0.5 = 4$ あまり3 B: $2.3 \div 0.5 = 4$ あまり0.3 C: $2.3 \div 0.5 = 4.6$ ・Cはあまりが出ていないので違う。 ・商は1の位まででよい。	個人 全体	授業づくりの視点① →必要感や学習意欲を高める。 →解決につながる見直しを全員にもたせる。	
2. 課題を立てる あまりはどのように表せばよいらう。 ・今日の学習のルーブリックを示す。	全体	授業づくりの視点① →学習のゴールを明確にする。	
3. 解決の見直しをもつ ・テープ図で考える。 ・たしかめの式で考える。 ・筆算で考える。	個人 全体	授業づくりの視点① →課題を解決するための手段を確認する。	
4. 個人で考える ・あまりがわられる数より大きくなっているからAは間違っている。 ・0.5mのテープが4本で2mだから、 $2.3 - 2$ で、あまりは0.3mだ。	個人	授業づくりの視点② →自分の考えや求め方の説明をノートに書かせる。	

授業づくりの視点①  
→必要感や学習意欲を高める。  
→解決につながる見直しを全員にもたせる。

授業づくりの視点②  
→自分の考えや求め方の説明をノートに書かせる。

授業づくりの視点③  
→学習内容を生かして問題を解く。  
◇あまりは除数より小さくなることを理解している。またそれを言葉で説明することができる。  
【観察・発言・ノート】

・たしかめの式だと  $0.5 \times 4 + 0.3 = 2.3$  になるのでBが正しい。  
・筆算で求めると4あまり0.3になる。

5. ペアで自分の考えを相手に伝える  
・自分の考えをとなりの人に伝え、再度自分の考えを整理する。

6. 全体で考える  
・深めていく順序を意識しながら指名していく。  
・もとの長さを10倍しているのに、あまりを1にするに気付かせる。

7. あまりの出し方をまとめる  
あまりの小数点は、わられる数のもとの小数点にそろえてうつ。

8. 練習問題を解き、説明する  
・教科書P66のたしかめ19に取り組む。

9. 本時の学習を振り返る  
・ペアや全体交流で学んだことを記述する。

授業づくりの視点④  
→考えの確認・考えを広げるための交流 (自信をもつ、他の考えを知る)  
→考えを広げる・深める交流 (他の考えがわかる・説明できる)

授業づくりの視点⑤  
→学習内容を生かして問題を解く。  
◇あまりは除数より小さくなることを理解している。またそれを言葉で説明することができる。  
【観察・発言・ノート】

授業づくりの視点⑥  
→学習の成果・課題を言葉で表現する。

授業づくりの視点⑦  
→学習のゴールを明確にする。

授業づくりの視点⑧  
→課題を解決するための手段を確認する。

授業づくりの視点⑨  
→自分の考えや求め方の説明をノートに書かせる。

授業づくりの視点⑩  
→学習内容を生かして問題を解く。  
◇あまりは除数より小さくなることを理解している。またそれを言葉で説明することができる。  
【観察・発言・ノート】

授業づくりの視点⑪  
→学習の成果・課題を言葉で表現する。

3 本時の学習

(1) 本時の目標  
小数の除法のあまりの大きさについて理解する。【知識・理解】

(2) 本時の評価  
◇評価規準の具体 (評価方法～観察・発言・ノート)

【知識・理解】  
十分に満足できる : あまりの出し方を理解し、説明することができる。  
おおむね満足できる : あまりの出し方を理解している。  
努力を要する児童への指導  
→テープ図を活用し、答えの見直しをもたせる。

(3) 本時の展開【鈴木道樹】(12時間扱い 9時間目)

学習活動	形態	※留意点	◇評価規準【評価方法】
1. 問題を捉える 2.3mのテープを0.5mずつ切っていきます。0.5mのテープは何本できて、何mあまるでしょうか？ ・立式する。→ $2.3 \div 0.5$ ・3つの求め方を提示する。 A: $2.3 \div 0.5 = 4$ あまり3 B: $2.3 \div 0.5 = 4$ あまり0.3 C: $2.3 \div 0.5 = 4.6$ ・Cはあまりが出ていないので違う。 ・商は1の位まででよい。	個人 全体	授業づくりの視点① →必要感や学習意欲を高める。 →解決につながる見直しを全員にもたせる。	
2. 課題を立てる あまりはどのように表せばよいらう。 ・今日の学習のルーブリックを示す。	全体	授業づくりの視点① →学習のゴールを明確にする。	
3. 解決の見直しをもつ ・テープ図で考える。 ・たしかめの式で考える。 ・筆算で考える。	個人 全体	授業づくりの視点① →課題を解決するための手段を確認する。	
4. 個人で考える ・あまりがわられる数より大きくなっているからAは間違っている。 ・0.5mのテープが4本で2mだから、 $2.3 - 2$ で、あまりは0.3mだ。	個人	授業づくりの視点② →自分の考えや求め方の説明をノートに書かせる。	

授業づくりの視点①  
→必要感や学習意欲を高める。  
→解決につながる見直しを全員にもたせる。

授業づくりの視点②  
→自分の考えや求め方の説明をノートに書かせる。

授業づくりの視点③  
→学習内容を生かして問題を解く。  
◇あまりは除数より小さくなることを理解している。またそれを言葉で説明することができる。  
【観察・発言・ノート】

授業づくりの視点④  
→学習の成果・課題を言葉で表現する。

・たしかめの式だと  $0.5 \times 4 + 0.3 = 2.3$  になるのでBが正しい。  
・筆算で求めると4あまり0.3になる。

5. ペアで自分の考えを相手に伝える  
・自分の考えをとなりの人に伝え、再度自分の考えを整理する。

6. 全体で考える  
・深めていく順序を意識しながら指名していく。  
・もとの長さを10倍しているのに、あまりを1にするに気付かせる。

7. あまりの出し方をまとめる  
あまりの小数点は、わられる数のもとの小数点にそろえてうつ。

8. 練習問題を解き、説明する  
・教科書P66のたしかめ19に取り組む。

9. 本時の学習を振り返る  
・ペアや全体交流で学んだことを記述する。

授業づくりの視点④  
→考えの確認・考えを広げるための交流 (自信をもつ、他の考えを知る)  
→考えを広げる・深める交流 (他の考えがわかる・説明できる)

授業づくりの視点⑤  
→学習内容を生かして問題を解く。  
◇あまりは除数より小さくなることを理解している。またそれを言葉で説明することができる。  
【観察・発言・ノート】

授業づくりの視点⑥  
→学習の成果・課題を言葉で表現する。

授業づくりの視点⑦  
→学習のゴールを明確にする。

授業づくりの視点⑧  
→課題を解決するための手段を確認する。

授業づくりの視点⑨  
→自分の考えや求め方の説明をノートに書かせる。

授業づくりの視点⑩  
→学習内容を生かして問題を解く。  
◇あまりは除数より小さくなることを理解している。またそれを言葉で説明することができる。  
【観察・発言・ノート】

授業づくりの視点⑪  
→学習の成果・課題を言葉で表現する。